

2024年1月吉日

近畿本部機械システム部会 第102回例会・情報工学部会合同開催のご案内

近畿本部機械システム部会
部会長 田岡 直規

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

近畿本部機械システム部会第102回例会・情報工学部会を下記の通り合同で開催いたしますので、ご案内申し上げます。“アフターコロナ”の社会変容に対応して会員の皆様の利便性向上を図る観点から、今回の例会も会場開催に加えて Web 配信形式との併用で開催いたします。また、懇親会につきましても、コロナ等の感染拡大状況に大きな変化がない限り開催する予定です。参加ご希望の方は、例会参加申し込み時に懇親会欄の「参加」をご選択ください。なお、Web参加の方は通信欄に「Web参加」とご記入ください。（別紙コメントシート参照）

今回は、企業価値創造、人事革新など経営・マネジメントに関わりの深い、『共創を通じたイノベーション：企業内外で価値を生み出す』と『企業の持続的成長を実現する人的資本経営』の2件の講演を予定しております。当部会員をはじめ、他部門の技術士正会員・準会員、当会未入会の新規合格者や非会員の方もご参加いただけますので、奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

記

1. 開催日時：2024年3月9日（土）

13:00 頃～	会場受付、Web アクセス受付 開始
13:30～17:00	講演会
17:30 頃～	懇親会

2. 開催形式：会場開催及び Web 参加（Zoom）の併催

※参加お申し込みの際、通信欄に「会場参加」または「Web 参加」を明記ください。
※講演資料の配付につきましては、本案内「6. 配布資料について」を参照ください。

2-1. 講演会場：大阪科学技術センター 8階 小ホール

所在地：〒540-0004 大阪市西区靱本町一丁目 8 番 4 号

電話：06-6443-5324

URL：http://www.ostec.or.jp

会場へのアクセス：

Osaka Metro 御堂筋線 本町駅 下車、2号出口から西へ徒歩8分

または、同 四つ橋線・中央線 本町駅 下車、28号出口から北へ徒歩5分

懇親会場：アリスロード

(講演会場より徒歩 5 分)

所在地：大阪市中央区瓦町 4 丁目 5 番 9 号 井門瓦町ビル B1

2-2. Web 参加：

接続先情報は、開催日の数日前に、参加申込時に登録されたメールアドレス宛にお知らせいたします。

3. プログラム：

- 13:00 頃～ 会場受付および Zoom アクセス受付 開始
- 13:30～13:35 開会挨拶 機械システム部会長 田岡 直規
- 13:35～14:50 **講演 1：「共創を通じたイノベーション：企業内外で価値を生み出す」**
講師：川本 康貴氏 日本技術士会近畿本部 情報工学部会 副部会長
- 14:50～15:05 質疑応答
- 15:05～15:15 休憩
- 15:15～16:30 **講演 2：「企業の持続的成長を実現する人的資本経営」**
講師：岩本 隆氏 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任教授
- 16:30～16:45 質疑応答
- 16:45～16:50 閉会挨拶 情報工学部会長 野原 英則
- 16:50～17:00 事務連絡（アンケートと CPD 連絡、各部会 次回以後の例会予定の告知等）
- 17:00 閉会

4. 講演概要

講演 1：「共創を通じたイノベーション：企業内外で価値を生み出す」

講師：川本 康貴 日本技術士会近畿本部 情報工学部会 副部会長

講演概要：

グローバル化や製品の進化、ユーザーの多様な要求により、一社だけで新しい価値を生み出すことが難しくなっています。このため、大企業では「オープン型イノベーション」の重要性が増しており、部門や他社、ユーザーとの連携が必要になっています。この現象は日本企業特有のものではなく、世界中の企業で共通の課題となっています。このような課題に対応するために、ISO 56002 などのイノベーション・マネジメント規格が開発されています。本講演では、企業内イノベーションの経験をもとに、必要なルールや問題点について焦点を当てて探ります。

ご講演者略歴：

2001 年から沖電気工業株式会社に勤務。2019 年までは研究開発本部にて、無線通信プロトコルに関する研究開発や標準化活動など、IoT システムに関する研究開発に従事。2020 年からはイノベーション事業開発センター ビジネス開発部にて、新規事業の開発業務に従事。2020 年からは京都工芸繊維大学大学院の特任准教授を兼任。受け持ちの講義は「IoT システム構築論」「産業技術応用論：ブロックチェーン」専門はコンピュータアーキテクチャ、ソフトウェア工学、無線通信プロトコルスタック等の組み込みソフトウェア設計・開発、ブロックチェーンや AI を利用した IoT システム設計開発。資格：博士（工学）、技術士（情報工学）

講演2：「企業の持続的成長を実現する人的資本経営」

講師：岩本 隆 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任教授

講演概要：

技術立国」の国と言われてきた日本は、今は「失われた30年」の国と言われ、過去成し遂げてきた技術による新しい産業の創造が進んでいない。そのため、日本政府は、日本企業の国際競争力を高めるために産業人材政策を重視しており、経済産業省が仕掛けた人的資本経営が注目を浴びるようになった。

本講演では、企業がイノベーションを生み出し続けて持続的成長を実現するための人的資本経営のあり方について、マクロ動向や具体事例などを交えながらお話する。技術士の皆さんの活躍が重要であり、そのためのヒントを少しでも提供できれば幸いです。

ご講演者略歴：

東京大学工学部金属工学科卒業、カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）工学・応用科学研究科材料学・材料工学専攻 Ph.D.。モトローラ、ルーセント・テクノロジー、ノキア、ドリーム インキュベータを経て、2012年6月より2022年3月まで慶應義塾大学大学院経営管理研究科特任教授、2018年9月より2023年3月まで山形大学学術研究院産学連携教授、2022年12月より慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授。

5. 参加費

講演会

日本技術士会正会員ならびに準会員（部門不問）	～ 1,000 円
近畿本部・兵庫県支部協賛団体の方（会場に限り参加可です）	～ 1,000 円（1口1名）
非会員の方（会場に限り参加可です）	～ 2,000 円

懇親会

会員・非会員に関係なく、一律 4,000 円

【参加費のお支払方法について】

<会場にて参加の方>

講演会参加費、懇親会参加費ともに、例会会場受付にて現金でお支払いください。

なお、領収書はインボイス対応です。

<Web リモートにてご参加の方>

例会終了後、2週間以内に、機械システム部会のゆうちょ銀行口座へ上記所定の金額をお振り込みください。なお、振込手数料は参加者の負担とします。

*今回も例会では、会場開催と Web リモートの併催とするに当たり、参加費は参加方法によらず同額といたしました。Web リモートのみでの開催時と比較すると参加費用の値上げとなりますが、併催にかかる経費（Zoom ライセンス、マイク・PC 等の機材）が必要であること、また会場開催においても Web リモートにおいても、提供する価値（講演の内容）は同一であることによります。予めご了承の程、お願いいたします。

*非会員は会場での参加のみ可とします。なお、参加費は部会規定によります。

6. 配付資料について

今回のご講演資料の配付につきましては、次の通りといたします。また、資料の複写、転送は厳禁とします。ご理解、ご了承願います。

- 会場開催と Web リモートの併催であることから、会場参加者・Web リモート参加者とも、配付資料は PDF ファイルをメールにて配信する形式に統一し、例会でのペーパーレス化を実施します。会場参加者の方への印刷物の配付はいたしませんので、予めご了承ください。
- 講演資料は、参加申し込みをいただきました方々に対し、例会前日までにメールでお送りします。会場参加の方は、各自で印刷してご持参いただくか、タブレットもしくは PC 端末などへ保存の上、ご持参いただいてご対応ください。（大阪科学技術センターでは Wi-Fi の使用が可能となりました。会場に接続情報が掲示されています。）

ただし、会場内での Zoom 講演サイトへの接続はご遠慮ください（干渉防止のため）。

7. CPD 行事参加票とアンケートについて

会場参加者にお渡しする領収書には、アンケート URL を記載しております。Web 参加者には、講演会終了近くにアンケート URL をチャットでお知らせします。URL からアンケートに記入、送信いただいた後に、CPD 参加票をダウンロードしていただけます。各自、画面案内に従い、入手ください。

ペーパーレス化は、SDGs の 17 のゴールのうち、8 番（働きがいも経済成長も）と 12 番（つくる責任つかう責任）に該当するものでもあります。何卒ご理解をお願いいたします。

8. 参加申し込み方法 および 注意事項

日本技術士会近畿本部機械システム部会の Web サイトにアクセスし、

<http://www.ipej-knk.jp/bukai/kikai/kikai-gyouji.html>

- ① 3 月「第 102 回例会参加申込」の各欄に所定の項目を入力いただき、**通信欄に「会場参加」または「Web参加」を明記**の上、「確認」を押して送信ください。

Web参加をご希望の方で、ZoomのURLをお知らせするメールアドレスが参加申し込みのものと異なる場合は、Zoomへのアクセスに当日利用されるアドレスを通信欄に記入ください。

（例：勤務先アドレスから参加を申し込んだが、自宅でのZoom聴講には自宅アドレスからアクセスする場合など）

- ② 参加申し込み〆切：**2024年3月5日（火）**

但し、〆切前であっても、定員に到達次第締め切ります。

（講演会：会場定員80名、Web100名、懇親会：～50名）

また、講演会のキャンセル待ちはございません。

- ③ コロナ等の感染拡大状況次第では、今後、会場での講演については中止との判断を下さざるを得なくなる可能性もございます。その場合は、参加お申し込み時に使用されたアドレスに連絡いたします。携帯電話等への連絡を希望される場合は、通信欄にご記入ください。

- ④ **【注意事項】Zoom を用いた Web 参加について**

Zoom での Web ご参加に際し、事前準備と例会当日の参加時注意事項を次ページに記載しますので、ご確認・ご対応をよろしくお願いいたします。

【注意事項】

- i) Zoom を初めて使用される方を対象に、PC もしくはスマートフォンでのセットアップ方法を別紙に記載しています。例会当日にスムーズに参加していただくため、該当される方は、例会当日までにセットアップを完了させておいてください。
 - ii) 発信側で、Zoom の接続トラブル等が生じた場合、例会開始の直前に参加申込者にメールにて緊急連絡を流し、対処法をお知らせします。
よって、お申し込み時に記入いただくメールアドレスは、ご自宅等受講場所で受信可能なものをご選択ください。また、お手許の受信メディアでは、メールソフトを起動させておいてください。
 - iii) オンライン例会をスムーズに進行するため、参加者各位には当日、以下の点を遵守いただくようお願いいたします。
 - ・受付側での接続許可／不許可は Zoom における表示名にて判定するため、ご氏名の表示は日本語による実名表記としてください。
 - ・参加中は、マイクをミュートに設定してください。
 - ・各講演後に、質疑応答の時間を設けます。
- 質問のある方は、講演中に Zoom のチャット機能を用いて質問事項を記入・送信してください。
- 司会者の指名を受けた質問投稿者は、マイクのミュートを解除して、改めて口頭でご質問ください。
- 講演者の回答終了後、マイクはミュートに再設定してください。
- 時間に余裕があれば直接口頭での質疑も受け付けますので、司会者の指示に従ってください。

別 紙

【Zoom アプリのセットアップ方法】

<PC の場合>

以下のサイトにアクセスして、「ミーティング用 Zoom クライアント」をダウンロードし、PC にインストールしてください。

<https://zoom.us/download>

<スマートフォンの場合>

「Zoom Cloud Meetings」というアプリをインストールしてください（無料）。

【Zoom アプリの入手方法】

iPhone/iPad は Apple store から入手できます。

<https://apps.apple.com/jp/app/zoom-cloud-meetings/id546505307>

Android は Play ストアから入手できます。

<https://play.google.com/store/apps/details?id=us.zoom.videomeetings&hl=ja>

*例会参加には、Zoom のアカウント登録・ログインは不要です。

*初回起動時に、マイクやカメラへのアクセス許可を求めるメッセージが出てきますが、すべて「許可する」をクリックしてください。

*予めソフトのインストールが完了していれば、会議案内の URL をクリックすれば参加できます。

（ミーティング ID やパスワードの入力は不要。）

→当日までにアプリのセットアップを完了しておくことを推奨します。

以上。